

新課程対応

# 共通テスト8割をねらえる入試基礎力を養成

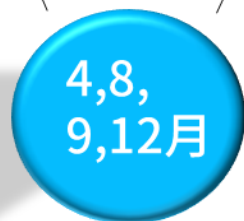
最重要基礎×頻出単元に絞った厳選問題演習で、合格できる土台と応用力が身につく基本教材。英数国は**全員**に毎月お届け。理科・地歴公民は**ご希望**の科目を定期的にお届け。

英数国



理科・  
地歴公民

まとめて  
お届け



開講科目：英語/数学/国語

理科…物理/物理基礎/化学/化学基礎/生物/生物基礎/地学基礎

地歴公民…歴史総合/日本史探究、歴史総合/世界史探究、地理総合/地理探究、  
公民（公共、政治・経済、倫理）

共通テスト対応

大学  
受験

# Challenge<sup>®</sup>

4

合格につながる  
揺るがぬ基礎固め  
スタート!

英語

数学

国語

【英語】共通テスト突破への合格逆算カリキュラム(8~3月号)

月号	基礎/共通テ	単元
8	基礎	基礎力完成演習(前半総復習)
	共通テ	共通テスト対策
9	基礎	復習(動詞・文型/時制/仮定法)
	基礎	文法総合演習
	共通テ	【記事・図表】 共通点・相違点のとらえ方(1)
	共通テ	【記事・図表】 共通点・相違点のとらえ方(2)
	共通テ	【モノローク】 出来事の順序の聞き取り方(1)
	共通テ	【モノローク】 出来事の順序の聞き取り方(2)
	共通テ	【モノローク】 情報を図表に整理する方法(1)
	共通テ	【モノローク】 情報を図表に整理する方法(2)
10	基礎	復習(不定詞/分詞・動名詞/接続詞)
	基礎	文法総合演習
	共通テ	【物語・伝記】 時系列順に概要をつかむ方法(1)
	共通テ	【物語・伝記】 時系列順に概要をつかむ方法(2)
	共通テ	【複数人の発言】 条件に沿って整理する方法(1)
	共通テ	【複数人の発言】 条件に沿って整理する方法(2)
	共通テ	【講義】 聞きながら情報を整理する方法(1)
	共通テ	【講義】 聞きながら情報を整理する方法(2)

11	基礎	復習(関係詞/比較/否定・疑問)
	基礎	文法総合演習
	共通テ	【記事】 書き手の意図や要約の見抜き方(1)
	共通テ	【記事】 書き手の意図や要約の見抜き方(2)
	共通テ	【記事】 図表やタイトルの選び方(1)
	共通テ	【記事】 図表やタイトルの選び方(2)
	共通テ	【議論】 意見・立場を聞き取る方法(1)
	共通テ	【議論】 意見・立場を聞き取る方法(2)
12	—	実戦力完成演習
1	共通テ	共通テスト予想問題
2	共通テ	共通テスト予想問題
3	—	超直前 要点チェック

※最新の入試動向を分析し、日々のカリキュラムを更新しています。

※ここでご紹介している教材・サービスの名称・内容・デザイン等は変わることがあります。

学習時間の目安  
30分

形や意味が似ている動詞は混同しやすい。自動詞と他動詞の見分け方を理解し、文型を正しくとらえられるようになる。

これで解ける!

THE  
鉄則

◆動詞の後の要素を見れば、自動詞か他動詞か判断できる

- ・他動詞は直後に(代)名詞がくる
- ・形や意味が似ている自動詞と他動詞がある
- ・〈S+V+X(名詞)〉でS=Xなら〈S+V+C〉, S≠Xなら〈S+V+O〉

## step 1

例題で THE 鉄則 をつかむ

例題 次の日本語の英訳として正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

ナンシーは高校時代の同級生と結婚した。

ア Nancy married a classmate from high school.

イ Nancy married to a classmate from high school.

ウ Nancy married with a classmate from high school.

エ Nancy married of a classmate from high school.

( )

## THE 鉄則 他動詞は直後に(代)名詞がくる

動詞の直後に(代)名詞がくるか前置詞がくるかに注意!

まず、問題文の日本語と選択肢の英文を比較して、動詞 marry の用法が問われていることを見抜こう。アでは、married の直後に a classmate from high school という名詞が続いているが、イ、ウ、エでは、それぞれ married のあとに、to, with, of という前置詞が続いている。さて、「…と(結婚する)」という動作の対象を表すとき、このような前置詞は必要なのだろうか? 英語の動詞には、目的語をとらない動詞(自動詞)と、目的語をとる動詞(他動詞)がある。marry には「…と結婚する」という意味の他動詞の用法があるので、直後に目的語となる名詞(a classmate from high school) を続けるのが正しい。前置詞 to, with, of などを用いて「…と」を表す必要はないので注意しよう。

Nancy married a classmate from high school.

S V O(名詞) ※「結婚する」という動作の対象が「高校時代の同級生」

したがって、正解は、ア Nancy married a classmate from high school. となる。

## 覚える

## 間違えやすい自動詞と他動詞

自動詞は直後に目的語となる(代)名詞を続けることができないので、前置詞が必要。他動詞は直後に目的語となる(代)名詞を続けられるので前置詞は不要。日本語にまどわされて、2つの用法を混同しないように気をつけよう。

●他動詞と間違えやすい自動詞: 結びつく前置詞も一緒に覚える

- apologize to ... 「(人)に謝る」/ apologize for ... 「(物事)について謝る」
- complain to ... 「(人)に不平を言う」/ complain about ... 「(物事)について不平を言う」
- graduate from ... 「…を卒業する」
- object to ... 「…に反対する」
- wait for ... 「…を待つ」

●自動詞と間違えやすい他動詞: 前置詞をつけないように注意

- approach 「…に近づく」
- attend 「…に出席する」
- discuss 「…について話し合う」
- oppose 「…に反対する」
- reach 「…に到着する」
- resemble 「…に似ている」

プラス  
+α

## 自動詞と他動詞の言い換え

次のような例では、異なる自動詞と他動詞で同じような意味を表すことができる。

「私たちは新しい計画について話し合った」

- e.g.  $\left\{ \begin{array}{l} \text{We talked about our new project.} \\ \text{S V} \end{array} \right.$  ※ talk は自動詞なので前置詞 about のあとに(代)名詞を続ける。
- $\left\{ \begin{array}{l} \text{We discussed our new project.} \\ \text{S V O} \end{array} \right.$  ※ discuss は他動詞なので直後に(代)名詞を続ける。



共通テストで扱われそうな手紙やメールなどを、状況設定と探すべき情報を意識して読みとれるようになろう。

速効  
アプローチ

- ◆リード文で問題の状況設定をとらえる
- ◆手紙・メール・メモは、発信者と宛先、目的に注目

step1 例題で速効アプローチをつかむ

右ページの【解き方】1~4に沿って、問題に取り組もう。

**例題** You are a college student living in the city of Gifu. One day, you receive an e-mail from your friend, Tom. He lives overseas, and he is telling you about his family's future trip to Japan.

To: Hisato Mizuno  
From: Tom Wainer  
Date: Tuesday, September 15  
Subject: My parents' trip to Japan

Hello, Hisato!

How is everything going? It's already about a year since You stayed with us in the U.S. I'm doing pretty well at college. I just wanted to let you know that my mom and dad are planning to travel to Japan for their 25th wedding anniversary. In early October, they will first visit Tokyo and then go to Kyoto. But they have time to spare and would like to stop by Gifu to see you again! I'm sure they would be very happy if you could show them around your hometown for a few hours. How does that sound?

Best,  
Tom

1 状況設定

2 宛先、発信者

2 目的

4 問2 関連箇所

4 問1 関連箇所

(「ゼミ」オリジナル)

問1 Tom wants to know 1.

- ① what his parents should do in Japan
- ② when his parents should go to Japan
- ③ where you can meet his parents
- ④ whether or not you can meet his parents

3

4

【解き方】

速効  
アプローチ

1 状況設定をとらえる

リード文を読んで自分が岐阜に住む大学生(Hisato)で、海外在住の友人Tomから、家族の日本旅行の件でメールをもらう」という設定を把握。

速効  
アプローチ

2 発信者と宛先、目的に注目する

メールの発信者はTomで、宛先はHisato (=あなた)。目的は件名に書かれている「両親の日本旅行」。

3 設問文から探すべき情報を見極める

設問文「Tomは1を知りたがっている」から、探すべき情報は、TomがHisato (=あなた)に質問している内容。

4 選択肢とメールの関連箇所を比較

メールの最後でHow does that sound?と尋ねている内容は、その前文you could show them around your hometown について、Tomの質問の意図を表すほぼ同意の選択肢を選ぶ。

正解の番号を書こう ( )

下の解説を見て、答えを確認しよう。

「Tomは1を知りたがっている」

- ① 「彼の両親が日本で何をすべきか」→ × Tomは両親が何をすべきかという質問はしていない。
- ② 「彼の両親がいつ日本に行くべきか」→ × メール第5文にIn early Octoberと書かれている。
- ③ 「あなたが彼の両親とどこで会えるか」→ × Tomは落ち合う場所は質問していない。
- ④ 「あなたが彼の両親と会えるかどうか」→ ○ 第7, 8文から読みとれるTomの意図とほぼ同意。

解答 ④



同じ手順で例題の続きを考えてみよう。

